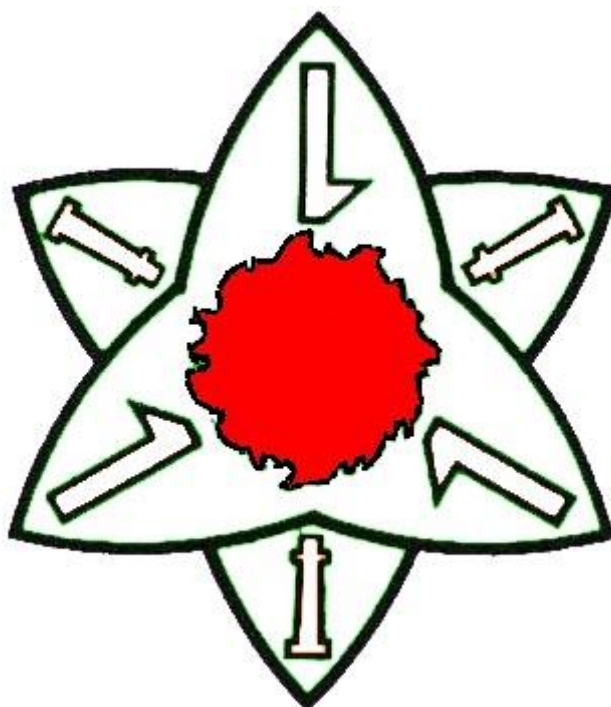


平成24年

# 救急・救助統計



火事と救急・救助は119番

消防テレホンサービス 22-9944

酒田地区広域行政組合

この統計は、平成 24 年（1 月～12 月）の酒田地区広域行政組合管内における救急・救助業務の実態を調査分析し、今後における円滑な業務の推進と救命率の向上を図るとともに住民の皆様からご理解とご協力を頂くために作成したものです。

## 目 次

	頁
救急・救助の概要-----	1～3
<b>救 急</b>	
1 月ごとの出動件数及び搬送人員-----	4
2 市町別の救急出動件数及び搬送人員-----	5
3 年齢区分別に見た事故種別ごとの搬送人員-----	6
4 重症度別の搬送人員-----	7
5 救急出動件数及び搬送人員の推移-----	7
6 事故種別ごとの出動件数の推移-----	8
7 主な事故種別の推移-----	8
8 曜日別の出動件数-----	9
9 覚知時刻別の出動件数-----	9
10 現場到着所要時間別の出動件数-----	10
11 収容所要時間別の搬送人員-----	10
12 医療機関別の搬送人員-----	11
13 救急隊員が行った応急処置-----	12
14 消防職員の救急隊員資格の取得状況-----	13
15 特定行為の実施状況-----	13
16 応急手当普及啓発活動の実施状況-----	14
17 消防隊等による救急活動支援の状況-----	15
<b>救 助</b>	
18 事故種別救助活動の状況-----	16
19 月別救助出動の状況-----	17
20 市町別救助出動の状況-----	18
21 曜日別救助出動の状況-----	19
22 交通事故における要救助者の重症度の状況-----	19
23 酒田管内へのヘリコプター出動状況-----	19
24 消防救助技術指導会出場状況（過去 5 年間）-----	20

## 救急・救助の概要

### 1 救急の概要

**“ 救急出動件数は5,917件、1日平均約16件 ”**

平成24年中における救急出動件数は5,917件で、前年に比べ314件(5.3%)減少し、1日平均にすると16.2件となります。

救急車で医療機関に搬送された方は5,457人で、前年に比べ298人(5.5%)減少し、管内の約27人に1人が搬送されたこととなります。

事故種別は、上位から「急病」が4,055件で全出動件数の68.5%を占め、次いで「一般負傷」816件(13.8%)、「転院搬送」394件(6.7%)、「交通事故」384件(6.5%)の順となります。前年と比較すると「一般負傷」や「火災」、「労働災害」、「自然災害」は増加したものの、他の種別は減少しています。

年齢区分別では65歳以上の方が3,702人で、全体の67.8%を占めます。これは高齢者人口の増加により、「急病」及び屋内や屋外での転倒による怪我等が多く発生していることが要因と考えられます。

過去10年間の救急件数を見ると、平成21年にわずかに減少したものの、昨年まで右肩上がり推移してきたのが平成24年は減少しました。しかし、重症度別では「軽症」2,502件、「中等症」2,378件となり、初めて「軽症」の件数が逆転しました。

より重症な方に救急車を利用してもらえるように、救急車の適正利用についての啓発を継続していきます。

### 2 高度処置救急隊の救命処置状況

**“ 心肺機能停止状態に陥った傷病者の搬送は前年より増加 ”**

心肺機能停止状態に陥った方は226人(前年224人)で、そのうち救急救命士が行う高度な救命処置(器具を用いた気道確保・静脈路確保及び薬剤投与)を施された方は、195人(前年174人)となっています。

### 3 応急手当普及啓発活動の状況

**“ 応急手当講習会は2,377人が受講 ”**

平成6年から始めた住民に対する応急手当普及啓発活動は、心肺蘇生法等の実技指導を中心として、普通救命講習Ⅰ(3時間)、普通救命講習Ⅱ(4時間)、上級救命講習(8時間)及び普及員講習(3日間)の講習会を実施していますが、平成24年4月から救命入門コース(90分)と普通救命講習Ⅲ(3時間)を新たに加え、本年は2,377人が受講しています。

平成24年中に救急搬送された心肺機能停止傷病者の226人のうち117人(51.8%)においては、バイスタンダー(近くに居合わせた人)により応急手当(心肺蘇生法・AEDによる除細動)が実施されました。

今後も救命率の向上を目指し、多くの方々から応急手当を身に付けて頂くために管内の自治会、事業所等に対し、積極的に応急手当普及啓発活動を働きかけていきます。また、小学生高学年・中・高・大学生に対しても、救命講習会のなかで「命の大切さ」と「応急手当の重要性」を訴え、進んで応急手当ができるよう普及啓発に努めていきます。

### 4 消防隊等の救急活動支援の状況

**“ P A連携により、安全に迅速な活動が可能に ”**

P A連携とは、ポンプ車(Pumper)及び救急車(Ambulance)が同時に出動することで、双方の頭文字から「P A」といい、消防隊と救急隊が連携して傷病者の救出・救護処置を迅速かつ確実に実施することを目的としています。

例えば、心肺機能が停止した傷病者に対して、多くの救急資器材を必要とする高度な救命処置を行う場合や、階段・通路などが狭いために傷病者の収容が難しい場合など、救急隊員のみでは対応が困難な事態に備えるため、必要と認められる場合には、救急車に加えて消防車を同時に出動させています。

なお、P A連携で出動した件数は448件で、前年に比べ30件(7.2%)増加しています。

## 5 ドクターヘリ運行状況

### “平成 24 年 11 月 15 日ドクターヘリ運航開始”

平成 24 年 12 月 31 日現在、当組合管内でドクターヘリの出動はありませんでした。

## 6 救助の概要

### “出動件数、救助人員ともに前年より増加、事故種別では山岳事故が増加”

平成 24 年中における救助出動件数は 68 件(前年 64 件)で、前年より 4 件増加となっています。事故種別の内訳として、交通事故が 33 件で全出動件数の 48.6%、その他の事故が 24 件(35.3%) その内訳は山岳事故 19 件、階段の手すりに足がはまり抜けなくなった事故等が 5 件、次いで水難事故が 3 件(4.4%)、機械による事故が 3 件(4.4%)、火災が 2 件(2.9%)、風水害等自然災害が 2 件(2.9%)、ガス及び酸欠事故 1 件(1.5%) でした。

山岳事故が増加した原因として、登山ブームで鳥海山を訪れる中高年の登山客が増加し、それに伴い急病人や滑落及び転倒によるけが人が多く発生したことと考えられます。

救助した人員については 50 人で前年より 17 人増加しました。また、酒田市、庄内町、遊佐町及び酒田地区広域行政組合消防本部がヘリコプターの出動要請を行い、組合管内に出動した件数は 26 件で、その内訳は山形県消防防災航空隊「もがみ」が 18 件、秋田県消防防災航空隊「なまはげ」が 2 件、山形県警察航空隊「がっさん」が 5 件、自衛隊ヘリコプターが 1 件でした。

1 月ごとの出動件数及び搬送人員

(件、人)

月別	年別	救急事故種別														合計
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資器材輸送	その他	
1	平成24年	3		1(1)	24(25)	9(8)		95(84)		10(6)	424(392)	40(40)			5	611(556)
	平成23年	1			23(23)	2(2)		92(84)	1(1)	5(5)	393(374)	25(25)			3	545(514)
2	平成24年	5(2)			26(26)	3(3)	1(1)	82(78)	1(1)	5(3)	359(335)	35(35)			3	520(484)
	平成23年			1	26(30)	4(4)	2(2)	77(72)	1(1)	2(2)	330(310)	32(32)		1	1	477(452)
3	平成24年	5			28(29)	3(3)		55(51)		3(1)	386(349)	18(18)			3	501(451)
	平成23年	2		1	28(28)	4(4)		71(63)	3(3)	9(6)	384(361)	30(30)			11(4)	543(499)
4	平成24年	1(1)	3(3)		23(21)	8(8)	1(1)	54(50)	2(1)	3(2)	301(278)	23(23)	1		11(3)	431(391)
	平成23年	3			29(29)			56(49)	1(1)	14(9)	333(303)	30(30)			9(3)	475(424)
5	平成24年	2			33(33)	5(3)	4(4)	71(66)		3(2)	333(313)	37(37)	1		8	497(458)
	平成23年	3(2)		2(1)	27(27)	1(1)	4(4)	61(59)	3(3)	4(4)	359(340)	30(30)			1	495(471)
6	平成24年	2			44(52)	4(4)	5(4)	52(47)		7(3)	281(268)	42(42)			6(1)	443(421)
	平成23年	3		1	29(28)	6(6)	8(8)	60(58)		9(5)	324(299)	27(27)	1		6	474(431)
7	平成24年	2		2	29(31)	5(5)	2(2)	67(64)		11(4)	322(302)	36(36)			8	484(444)
	平成23年	3			44(45)	1(1)	13(15)	61(58)	1(1)	10(9)	382(360)	36(36)			4	555(525)
8	平成24年	2			43(48)	2(2)	5(5)	71(65)	1	10(7)	367(341)	20(20)			4	525(488)
	平成23年	4(1)	1(1)		46(44)	4(4)	9(9)	65(59)	3(3)	5(3)	392(365)	28(28)			4	561(517)
9	平成24年	5			30(27)	4(4)	3(3)	58(55)		2(2)	287(278)	37(37)			10(2)	436(408)
	平成23年	3		1	31(28)	3(3)	5(5)	65(61)	1(1)	10(8)	334(306)	43(43)			4	500(455)
10	平成24年	4			35(36)	4(4)	3(3)	75(69)		4(3)	329(304)	29(29)			1	484(448)
	平成23年	3(4)		1	40(43)	4(4)	7(7)	72(69)	1(1)	7(3)	368(338)	49(49)			9(2)	561(520)
11	平成24年				32(34)	5(5)	2(2)	60(58)		8(5)	301(275)	32(32)			5(2)	445(413)
	平成23年	1			39(37)	5(4)	3(3)	57(52)	1(1)	3(1)	318(283)	41(41)			4	472(422)
12	平成24年	1			37(32)	5(5)	3(3)	76(71)		2(1)	365(337)	45(45)			6(1)	540(495)
	平成23年				46(48)	3(3)	1(1)	76(74)		2(2)	413(376)	23(21)	1		8	573(525)
平成24年計		32(3)	3(3)	3(1)	384(394)	57(54)	29(28)	816(758)	4(2)	68(39)	4,055(3,772)	394(394)	2		70(9)	5,917(5,457)
平成23年計		26(7)	1(1)	7(1)	408(410)	37(36)	52(54)	813(758)	16(15)	80(57)	4,330(4,015)	394(392)	2	1	64(9)	6,231(5,755)
増減		6(△4)	2(2)	△4	△24(△16)	20(18)	△23(△26)	3	△12(△13)	△12(△18)	△275(△243)	(2)		△1	6	△314(△298)

※( )は搬送人員です。

2 市町別の救急出動件数及び搬送人員

(件、人)

市町別	年別	救急事故種別													合計	
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	資器材輸送		その他
酒田市	平成24年	25 (3)	3 (3)	2 (1)	300 (303)	44 (42)	22 (21)	613 (567)	3 (2)	53 (31)	2,937 (2,705)	339 (339)			57 (8)	4,398 (4,025)
	平成23年	18 (1)	1 (1)	5 (1)	315 (312)	27 (26)	41 (43)	617 (571)	15 (14)	61 (45)	3,127 (2,879)	332 (330)	2		55 (8)	4,616 (4,231)
旧酒田市	平成24年	21 (3)	3 (3)	1 (1)	266 (272)	37 (35)	20 (19)	501 (463)	2 (1)	43 (27)	2,400 (2,208)	278 (278)			53 (8)	3,625 (3,318)
	平成23年	18 (1)	1 (1)	5 (1)	278 (274)	23 (22)	38 (40)	522 (479)	13 (12)	56 (40)	2,603 (2,389)	271 (269)	2		41 (6)	3,871 (3,534)
旧八幡町	平成24年				14 (14)	2 (2)	1 (1)	37 (36)		5 (2)	154 (145)	56 (56)			1	270 (256)
	平成23年				11 (12)	1 (1)		34 (33)		3 (3)	142 (133)	60 (60)			5 (2)	256 (244)
旧松山町	平成24年	1			10 (9)	2 (2)	1 (1)	38 (37)	1 (1)	2 (1)	207 (192)	4 (4)			1	267 (247)
	平成23年				11 (11)	1 (1)	3 (3)	26 (25)	1 (1)	1 (1)	199 (195)				6	248 (237)
旧平田町	平成24年	3		1	10 (8)	3 (3)		37 (31)		3 (1)	176 (160)	1 (1)			2	236 (204)
	平成23年				15 (15)	2 (2)		35 (34)	1 (1)	1 (1)	183 (162)	1 (1)			3	241 (216)
庄内町	平成24年	4			51 (53)	6 (6)	4 (4)	104 (99)		7 (4)	612 (589)	40 (40)			5	833 (795)
	平成23年	5 (6)		1	59 (60)	7 (7)	10 (10)	108 (101)	1 (1)	11 (7)	666 (628)	32 (32)			5	905 (852)
旧立川町	平成24年				8 (8)	1 (1)	1 (1)	35 (33)		1 (1)	200 (189)	6 (6)				252 (239)
	平成23年			1	18 (17)	1 (1)	5 (5)	37 (34)		4 (2)	221 (206)	2 (2)			1	290 (267)
旧余目町	平成24年	4			43 (45)	5 (5)	3 (3)	69 (66)		6 (3)	412 (400)	34 (34)			5	581 (556)
	平成23年	5 (6)			41 (43)	6 (6)	5 (5)	71 (67)	1 (1)	7 (5)	445 (422)	30 (30)			4	615 (585)
遊佐町	平成24年	3		1	33 (38)	7 (6)	3 (3)	94 (89)	1	8 (4)	504 (477)	15 (15)	2		8 (1)	679 (633)
	平成23年	3		1	33 (37)	3 (3)	1 (1)	88 (86)		8 (5)	537 (508)	30 (30)		1	4 (1)	709 (671)
管外	平成24年							5 (3)			2 (1)					7 (4)
	平成23年				1 (1)											1 (1)
平成24年計		32 (3)	3 (3)	3 (1)	384 (394)	57 (54)	29 (28)	816 (758)	4 (2)	68 (39)	4,055 (3,772)	394 (394)	2		70 (9)	5,917 (5,457)
平成23年計		26 (7)	1 (1)	7 (1)	408 (410)	37 (36)	52 (54)	813 (758)	16 (15)	80 (57)	4,330 (4,015)	394 (392)	2	1	64 (9)	6,231 (5,755)
増減		6 (△4)	2 (2)	△4	△24 (△16)	20 (18)	△23 (△26)	3	△12 (△13)	△12 (△18)	△275 (△243)	(2)		△1	6	△314 (△298)

※( )は搬送人員です。

### 3 年齢区分別に見た事故種別ごとの搬送人員

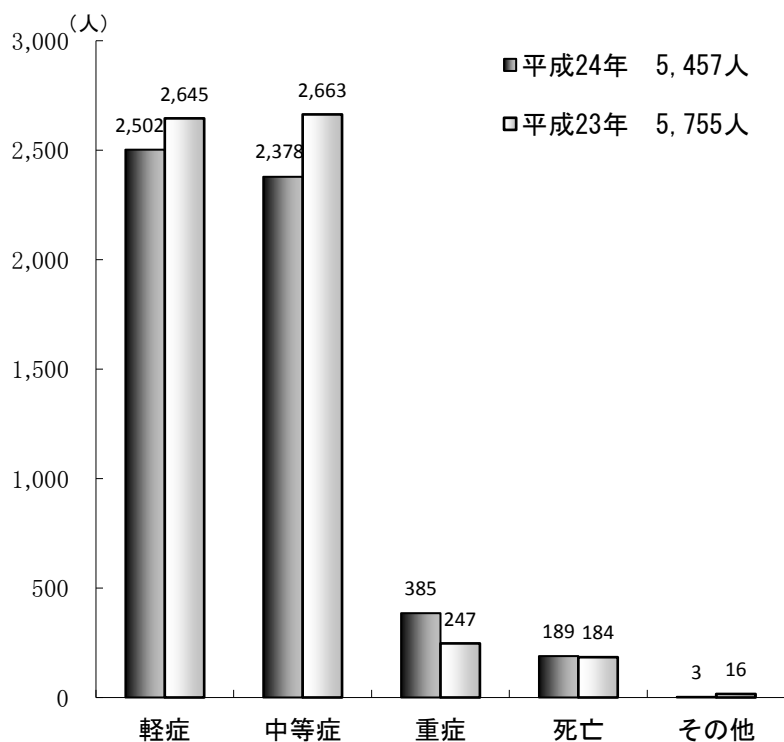
(人)

事故種別 年齢区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児 生後28日以内							1			1	8	10
乳 幼 児 生後29日以上満7歳未満				6			17			69	5	97
少 年 満7歳以上満18歳未満				27		19	23	1	3	56	6	135
成 人 満18歳以上満65歳未満	2	1		246	46	9	166	1	26	913	103	1,513
高 齢 者 満65歳以上	1	2	1	115	8		551		10	2,733	281	3,702
平成24年計	3	3	1	394	54	28	758	2	39	3,772	403	5,457
平成23年計	7	1	1	410	36	54	758	15	57	4,015	401	5,755
増 減	△ 4	2		△ 16	18	△ 26		△ 13	△ 18	△ 243	2	△ 298

※ 事故種別の「その他」とは、「転院搬送」、「医師搬送」、「資器材輸送」及び「その他(分類不能のもの)」です。



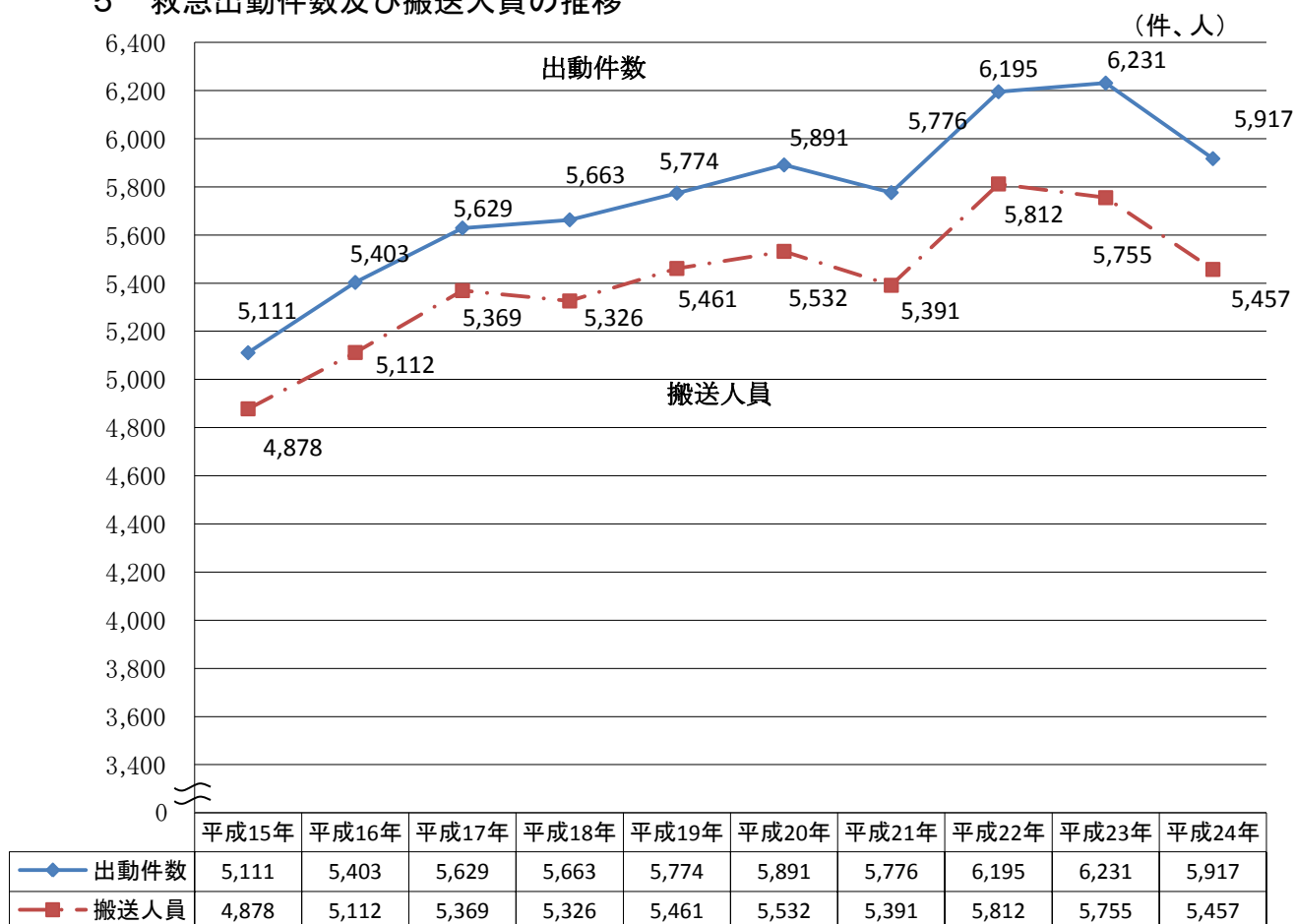
#### 4 重症度別の搬送人員



傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき次により分類する

軽症	入院加療を必要としないもの
中等症	入院加療を必要とするもので重症に至らないもの
重症	三週間以上入院加療を必要とするもの
死亡	初診時において、死亡が確認されたもの
その他	医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

#### 5 救急出動件数及び搬送人員の推移



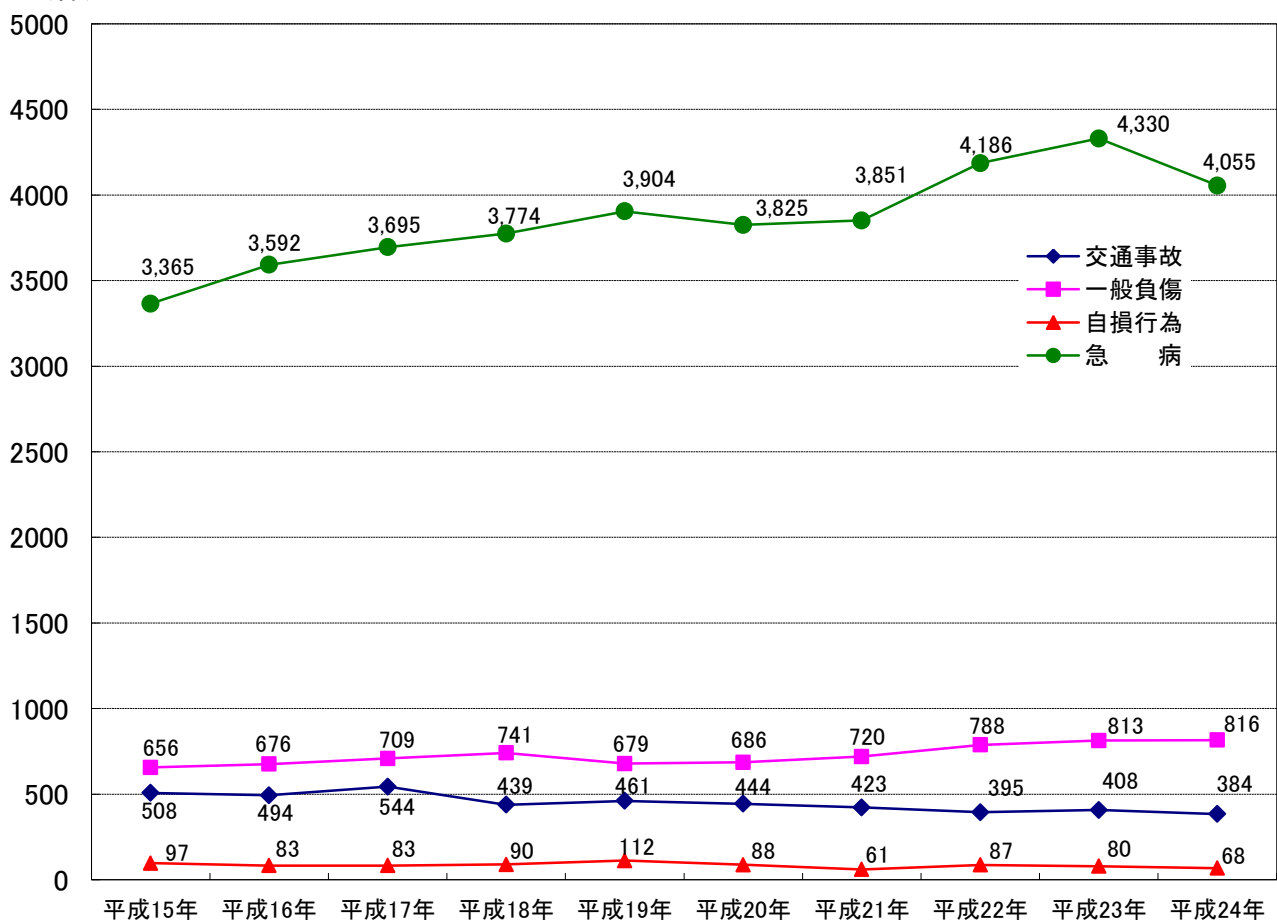
## 6 事故種別ごとの出動件数の推移

(件)

事故種別 年別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材送	その他	
平成15年	18		9	508	43	33	656	20	97	3,365	330			32	5,111
平成16年	14	2	9	494	51	33	676	29	83	3,592	388			32	5,403
平成17年	17		8	544	34	56	709	15	83	3,695	432	1	3	32	5,629
平成18年	32	1	11	439	55	54	741	16	90	3,774	413		1	36	5,663
平成19年	31		10	461	46	65	679	12	112	3,904	427			27	5,774
平成20年	36		4	444	40	48	686	20	88	3,825	666	1		33	5,891
平成21年	39	2	3	423	44	28	720	15	61	3,851	556	1		33	5,776
平成22年	37		6	395	33	47	788	15	87	4,186	576			25	6,195
平成23年	26	1	7	408	37	52	813	16	80	4,330	394	2	1	64	6,231
平成24年	32	3	3	384	57	29	816	4	68	4,055	394	2		70	5,917

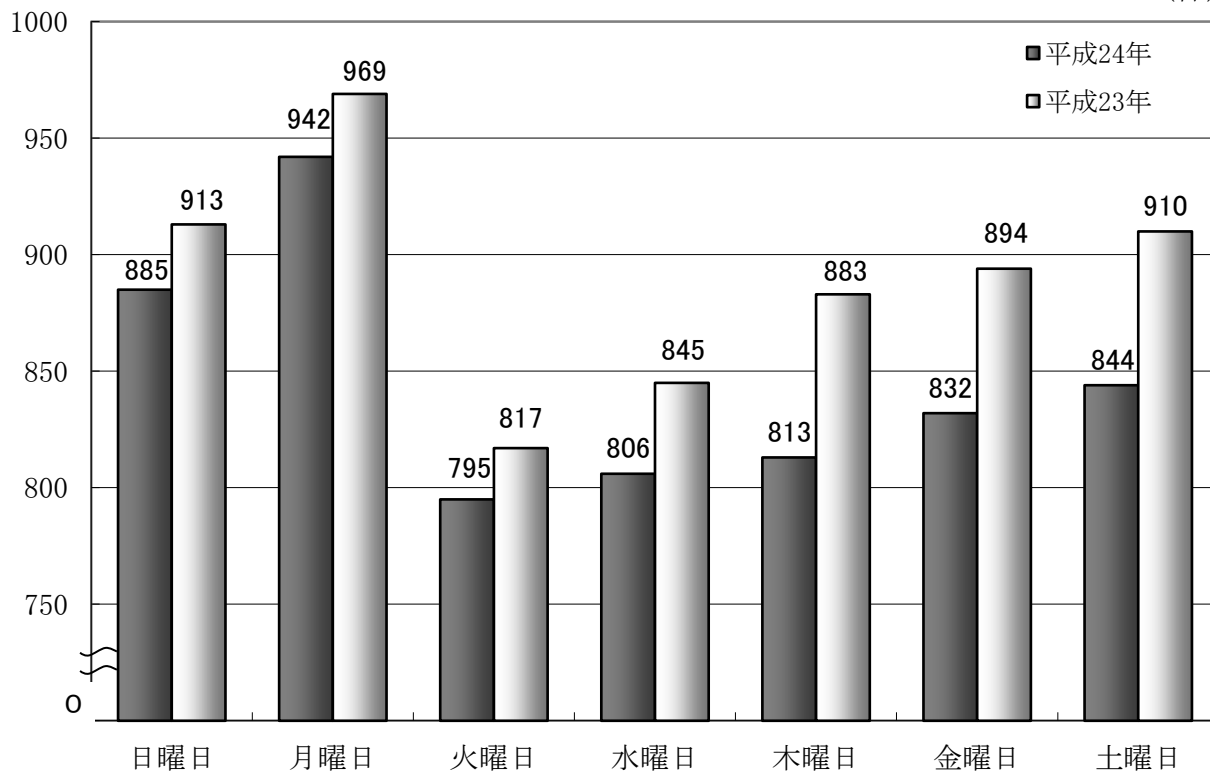
## 7 主な事故種別の推移

(件)



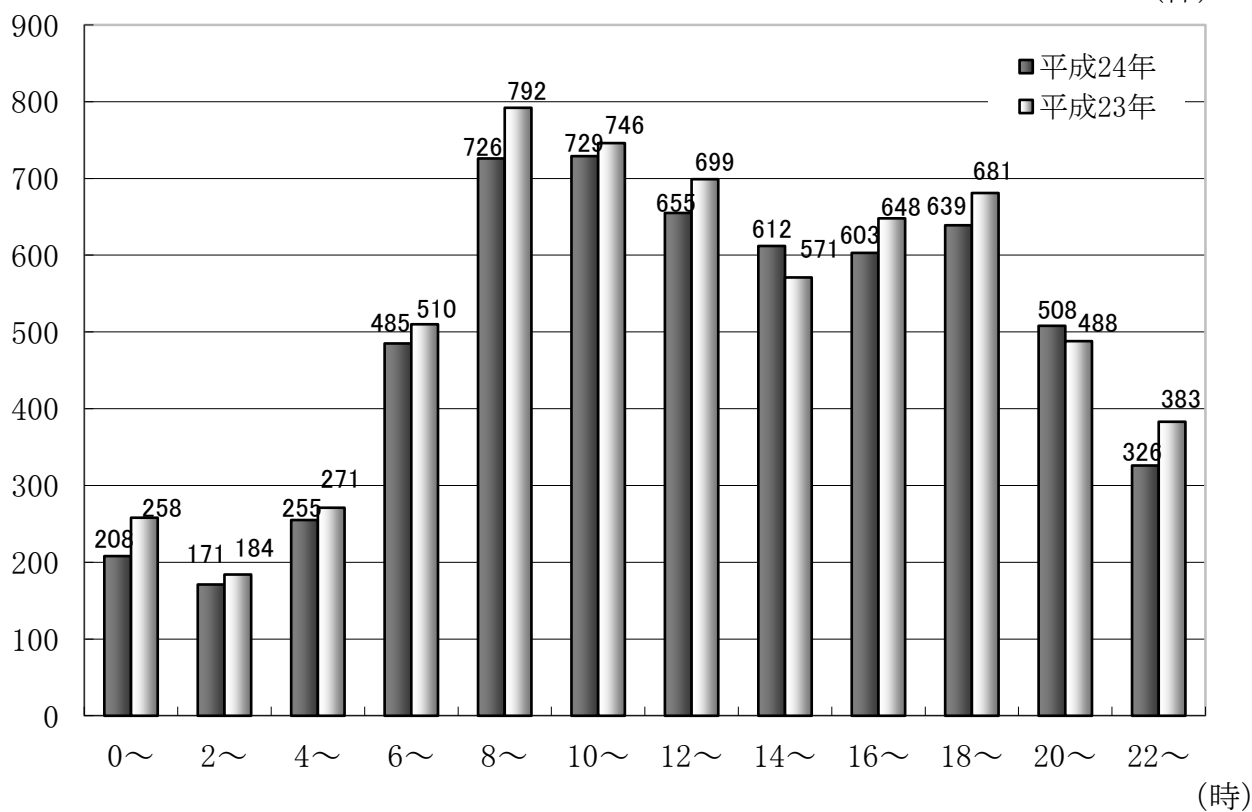
### 8 曜日別の出動件数

(件)



### 9 覚知時刻別の出動件数

(件)



## 10 現場到着所要時間別の出動件数

(件)

事故 種別・年別		時間別					計	平均時間
		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
急病	平成24年	34	351	2,632	972	66	4,055	平成24年 8分04秒
	平成23年	89	720	2,578	877	66	4,330	
一般負傷	平成24年	5	79	513	197	22	816	
	平成23年	21	143	481	158	10	813	
交通事故	平成24年	4	30	243	98	9	384	
	平成23年	10	61	214	114	9	408	
上記以外	平成24年	19	148	352	131	12	662	平成23年 7分24秒
	平成23年	41	199	320	108	12	680	
計	平成24年	62	608	3,740	1,398	109	5,917	
	平成23年	161	1,123	3,593	1,257	97	6,231	
比率	平成24年	1.0%	10.3%	63.2%	23.6%	1.9%	100%	
	平成23年	2.6%	18.0%	57.7%	20.2%	1.5%	100%	

※ 救急出動で途中引き揚げした場合は、引き揚げ時刻を現場到着時刻としています。

## 11 收容所要時間別の搬送人員

(人)

事故 種別・年別		時間別						計
		10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	
急病	平成24年	1	238	1,729	1,736	66	2	3,772
	平成23年		400	1,988	1,558	66	3	4,015
一般負傷	平成24年		45	304	380	26	3	758
	平成23年	1	70	344	325	18		758
交通事故	平成24年		32	176	168	18		394
	平成23年	1	51	205	141	12		410
上記以外	平成24年		61	293	162	10	7	533
	平成23年	2	79	289	179	18	5	572
計	平成24年	1	376	2,502	2,446	120	12	5,457
	平成23年	4	600	2,826	2,203	114	8	5,755
比率	平成24年	※0.0%	6.9%	45.9%	44.8%	2.2%	0.2%	100%
	平成23年	0.1%	10.4%	49.1%	38.3%	2.0%	0.1%	100%

※ 比率で平成24年の10分未満が0.0%となっていますが、実際の比率(%)は0.02%である。

12 医療機関別の搬送人員

(人)

搬送先 月別・年別		管内					管外			医療機関 以外	計	
		告示医療機関					非告示の 医療機関	鶴岡市	山形市			山形市 鶴岡市 以外
		日本海 総合病院	庄内 余目病院	市立 八幡病院	本間病院							
1月	平成24年	382	68	35	49	17	5				556	
	平成23年	435	37	12		23	6	1			514	
2月	平成24年	322	60	25	47	23	6	1			484	
	平成23年	396	28	6	8	7	7				452	
3月	平成24年	282	67	23	56	16	6		1		451	
	平成23年	343	72	25	26	24	9				499	
4月	平成24年	253	48	27	42	17	3		1		391	
	平成23年	318	43	18	24	15	6				424	
5月	平成24年	275	76	19	65	14	7	2			458	
	平成23年	354	61	12	27	10	5	2			471	
6月	平成24年	252	61	18	63	20	6	1			421	
	平成23年	328	41	12	24	20	6				431	
7月	平成24年	269	68	26	55	19	7				444	
	平成23年	372	60	19	40	24	9	1			525	
8月	平成24年	297	74	24	60	24	9				488	
	平成23年	370	53	16	42	21	15				517	
9月	平成24年	262	55	26	46	9	7	2	1		408	
	平成23年	320	43	18	45	15	14				455	
10月	平成24年	285	73	21	51	11	6	1			448	
	平成23年	342	69	24	55	18	9	2	1		520	
11月	平成24年	269	71	15	41	11	5	1			413	
	平成23年	295	48	14	39	15	8	3			422	
12月	平成24年	324	61	31	54	16	8		1		495	
	平成23年	366	83	12	34	17	12	1			525	
計	平成24年	3,472	782	290	629	197	75	8	4		5,457	
	平成23年	4,239	638	188	364	209	106	10	1		5,755	
比率	平成24年	63.7%	14.3%	5.3%	11.5%	3.6%	1.4%	0.1%	0.1%		100%	
	平成23年	73.7%	11.1%	3.3%	6.3%	3.6%	1.8%	0.2%	※0.0%		100%	

※ 本間病院は平成23年2月から告示医療機関に変更になりました。

※ 比率で山形市鶴岡市以外で表示上0.0%となっていますが、実際の比率(%)は山形市鶴岡市以外は0.02%となります。

13 救急隊員が行った応急処置

(人、回)

処置項目	人員	平成24年					平成23年					増減
		急病	交通事故	一般負傷	その他	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	
		3,767	391	757	515	5,430	4,001	403	748	560	5,712	
止血		15	24	80	13	132	19	25	71	15	130	2
固定		13	239	132	47	431	17	242	118	34	411	20
心肺蘇生		170	5	38	13	226	178	3	17	23	221	5
うち自動							1				1	△ 1
人工呼吸のみ		6	1			7	2			1	3	4
胸骨圧迫												
うち自動												
酸素吸入		1,200	57	105	155	1,517	1,340	71	104	149	1,664	△ 147
気道確保		291	7	43	19	360	290	6	37	31	364	△ 4
うち※1		4		2	3	9	4		1	1	6	3
うち※2		17		12		29	16	1	6		23	6
うち※3		137	1	32	10	180	119	1	14	13	147	33
うち※4				1		1				1	1	
保温		164	17	21	22	224	112	20	23	19	174	50
被覆		10	64	152	25	251	15	72	148	34	269	△ 18
在宅療法継続		19				19	22		3	10	35	△ 16
うち※A							1				1	△ 1
うち※B							2			5	7	△ 7
うち※C		19				19	19		3	5	27	△ 8
ショックパンツ												
除細動		26		1		27	16	1		1	18	9
静脈路確保		113	1	16	10	140	118	1	10	15	144	△ 4
薬剤投与		25		4		29	25	1	2	1	29	
血圧測定		3,547	374	707	485	5,113	3,777	384	708	507	5,376	△ 263
心音呼吸音聴取		416	45	59	34	554	320	54	43	20	437	117
血中酸素飽和度測定		3,586	377	719	494	5,176	3,827	391	709	535	5,462	△ 286
心電図測定		1,561	34	103	112	1,810	1,484	34	92	112	1,722	88
うち伝送												
その他		959	4	65	57	1,085	703	6	37	34	780	305
計		12,121	1,249	2,245	1,486	17,101	12,265	1,310	2,122	1,541	17,239	△ 138

※ 気道確保：※1 経鼻エアウェイ使用 ※2 喉頭鏡・鉗子による異物除去 ※3 ラリングアルマスク等処置 ※4 気管挿管処置  
 ※ 在宅療法継続：※A 点滴処置が施された者 ※B 気管切開、人工肛門等の外瘻が施された者 ※C AB以外の者  
 ※ 1人につき複数の応急処置を行うこともあるため、対象人員と処置項目の計の数とは一致しない場合があります。  
 ※ 不搬送時に処置した件数についても計上したため、搬送人員を上回る場合もあります。

#### 14 消防職員の救急隊員資格の取得状況

(人)

年別 \ 資格別	合計	救急救命士	救急科 (旧救急標準課程含)	旧救急Ⅱ課程	旧救急Ⅰ課程
平成20年	207	29	81	84	13
平成21年	205	30	82	82	11
平成22年	210	32	89	79	10
平成23年	212	34	94	77	7
平成24年	204	37	90	72	5

※ 職員定員(217名)で、その内の資格取得者数を12月31日現在で表したものです。

#### 15 特定行為の実施状況

(件、人)

年別 \ 区分	CPR 搬送人員	特定行為 処置人員	気道確保実施人員		静脈路確保 実施人員	薬剤投与 実施人員	特定行為 延べ件数	除細動 実施人員
				うち 気管挿管				
平成20年	212	164	145	13	117	8	270	25
平成21年	192	150	132	5	111	6	249	20
平成22年	208	163	149	7	128	24	301	18
平成23年	224	174	148	1	144	29	321	18
平成24年	226	195	181	1	140	29	350	27

※ CPR搬送人員とは、救急隊が心肺蘇生又は胸骨圧迫のみ、人工呼吸のみのうちいずれかを実施して搬送した人数です。

※ 特定行為処置人員とは、救急救命士がいずれかの特定行為処置(気道確保、静脈路確保、薬剤投与)を実施した人数です。

※ 特定行為延べ件数とは、気道確保、静脈路確保、薬剤投与を行った処置の件数です。

(除細動は、平成15年4月から医師の具体的指示を必要としないため、特定行為から除外されています。)

16 応急手当普及啓発活動の実施状況

(回、人)

月別	区分	救命入門コース	普通救命講習 I	普通救命講習 II	普通救命講習 III	上級救命講習	普及員講習	普及員再講習	指導員講習	指導員再講習	計
1月	回数		1								1
	人数		18								18
2月	回数		12	1		1					14
	人数		163	22		31					216
3月	回数		2								2
	人数		19								19
4月	回数	2	5								7
	人数	43	109								152
5月	回数	2	3								5
	人数	56	41								97
6月	回数	7	14		1				1		23
	人数	145	288		12				19		464
7月	回数	21	11	1	2	1		1		1	38
	人数	399	206	11	35	19		21		3	694
8月	回数	2	6					2		1	11
	人数	26	129					56		1	212
9月	回数	3	4				1	1		1	10
	人数	59	70				10	2		1	142
10月	回数	3	8								11
	人数	63	139								202
11月	回数	4	3				1				8
	人数	74	28				19				121
12月	回数	1	3								4
	人数	18	22								40
24年	回数	45	72	2	3	2	2	4	1	3	134
	人数	883	1,232	33	47	50	29	79	19	5	2,377
23年	回数		124	3		2	1	4		2	136
	人数		2,373	45		58	10	68		2	2,556
増減	回数	45	△ 52	△ 1	3		1		1	1	△ 2
	人数	883	△ 1,141	△ 12	47	△ 8	19	11	19	3	△ 179

※ 救命入門コース (90分) : 短時間の導入講習です。

普通救命講習 I (3時間) : 住民に対する標準的な講習です。(主に成人に対する心肺蘇生法)

普通救命講習 II (4時間) : 住民に対する標準的な講習です。(AEDの一定頻度使用者が対象の心肺蘇生法)

普通救命講習 III (3時間) : 住民に対する標準的な講習です。(主に小児・乳児・新生児に対する心肺蘇生法)

上級救命講習 (8時間) : 普通救命講習より高度な講習です。

普及員講習 (24時間) : 主として事業所又は自主防災組織等において当該事業所の指導員又は自主防災組織等の構成員に対して普通救命講習の指導に従事する者の講習です。

指導員講習 (8時間) : 当広域行政組合の行う普通救命講習又は上級救命講習の指導に従事する者の講習です。



# 17 消防隊等による救急活動支援の状況

(1) 月別

(件)

(2) 署別

(件)

月別	年別	種別						合計
		C P A	交 通	高 エ ネ ル ギ ー	多 層 階	防 災 へ り	そ の 他	
1	平成 24年	7	4	5	7		16	39
	平成 23年	16	1		17		13	47
2	平成 24年	8	3	3	8		10	32
	平成 23年	9	4	3	6		14	36
3	平成 24年	10	3	1	6	1	8	29
	平成 23年	7	4	4	11		16	42
4	平成 24年	14	3	3	7		9	36
	平成 23年	16	5	1	8	1	6	37
5	平成 24年	16	3	2	6		12	39
	平成 23年	7	3	1	13		10	34
6	平成 24年	10	3	6	7		4	30
	平成 23年	5	4	1	7		17	34
7	平成 24年	12	6	3	7	3	12	43
	平成 23年	7	5	1	9		7	29
8	平成 24年	9	5	2	14		13	43
	平成 23年	2	7	3	7		10	29
9	平成 24年	3	5	7	9		13	37
	平成 23年	6	5	6	6		2	25
10	平成 24年	13	7	1	5		7	33
	平成 23年	6	4	6	7		10	33
11	平成 24年	14	5	3	12		7	41
	平成 23年	8	9	2	6		9	34
12	平成 24年	10	6	4	13		13	46
	平成 23年	11	7	1	9		10	38
平成24年		126	53	40	101	4	124	448
平成23年		100	58	29	106	1	124	418
増減		26	△5	11	△5	3		30

署別	年別	種別						合計
		C P A	交 通	高 エ ネ ル ギ ー	多 層 階	防 災 へ り	そ の 他	
消防署	平成 24年	41	34	15	52	1	44	187
	平成 23年	38	31	19	61	1	24	174
東分署	平成 24年	1					2	3
	平成 23年	1						1
西分署	平成 24年	27	3	3	31		28	92
	平成 23年	16	4	4	28		32	84
南分署	平成 24年	8	2	1	2			13
	平成 23年		2		1		3	6
立川分署	平成 24年							
	平成 23年						1	1
余目分署	平成 24年	22	8	11	10		20	71
	平成 23年	23	13		10		42	88
遊佐分署	平成 24年	27	6	9	6	2	29	79
	平成 23年	21	8	5	6		22	62
八幡分署	平成 24年					1		1
	平成 23年							
松山分署	平成 24年							
	平成 23年							
平田分署	平成 24年			1			1	2
	平成 23年	1		1				2
平成24年		126	53	40	101	4	124	448
平成23年		100	58	29	106	1	124	418
増減		26	△5	11	△5	3		30

※ 救急活動支援（PA連携）とは、消防隊や救助隊が現場に出動し、救急隊の処置や搬送等を支援したり、交通事故現場において、救急隊の安全確保のための支援活動のことです。

※ その他とは、搬送困難、加害、傷病者多数などの支援活動のことです。

18 事故種別救助活動の状況

(件、人)

年 別 区 分 事 故 種 別		平 成 24 年			平 成 23 年		
		出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員
火 災	建 物	2	2	3			
	建 物 以 外						
交 通 事 故		33	23	24	28	14	16
水 難 事 故		3	3	3	12	4	4
風 水 害 等 自 然 災 害		2	1	1			
機 械 に よ る 事 故		3	2	2	1		
建 物 等 に よ る 事 故							
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		1			2	1	1
破 裂 事 故							
そ の 他 の 事 故	山 岳 事 故	19	11	13	2	1	1
	そ の 他	5	4	4	19	11	11
合 計		68	46	50	64	31	33

※ 「その他の事故」とは、火災から破裂事故までに該当しない事故のことです。

※ 平成20年度に当組合で山岳救助隊が発隊し、その活動状況を分かりやすくするために、「その他の事故」を更に「山岳事故」と「その他」に分類した。

19 月別救助出動の状況

月別	年別	救助事故種別										合計		
		火災		交通事故	水難事故	風自然 水害災害	機よる 械事に故	建よる 物等に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破裂 事故	その他の事故			
		建 物	建以 物外								山事 岳故		その 他	
1	平成 24年	1 (1)		2 (1)	1 (1)				1					5 (3)
	平成 23年			5	1								1 (1)	7 (1)
2	平成 24年	1 (2)		3 (2)										4 (4)
	平成 23年			1 (1)	1								1	3 (1)
3	平成 24年			2 (1)	1 (1)									3 (2)
	平成 23年			1	2 (1)								1 (1)	4 (2)
4	平成 24年			1		2 (1)	2 (1)							5 (2)
	平成 23年			1									2	3
5	平成 24年			2 (2)			1 (1)					1	2 (1)	6 (4)
	平成 23年			1 (1)	2 (1)				1					4 (2)
6	平成 24年			4 (3)								2 (2)		6 (5)
	平成 23年			1 (1)	2 (1)									3 (2)
7	平成 24年			2 (1)	1 (1)							4 (2)		7 (4)
	平成 23年			5 (4)								1 (1)	6 (4)	12 (9)
8	平成 24年											6 (5)		6 (5)
	平成 23年			2 (2)	1								1 (1)	4 (3)
9	平成 24年			4 (3)								3		7 (3)
	平成 23年				1 (1)		1					1	1 (1)	4 (2)
10	平成 24年			3 (1)								2 (1)	1 (1)	6 (3)
	平成 23年			1	2								3 (1)	6 (1)
11	平成 24年			3 (3)									1 (1)	4 (4)
	平成 23年			4 (3)					1 (1)					5 (4)
12	平成 24年			7 (7)								1 (3)	1 (1)	9 (11)
	平成 23年			6 (4)									3 (2)	9 (6)
平 成	24年計	2 (3)		33 (24)	3 (3)	2 (1)	3 (2)		1			19 (13)	5 (4)	68 (50)
平 成	23年計			28 (16)	12 (4)		1		2 (1)			2 (1)	19 (11)	64 (33)

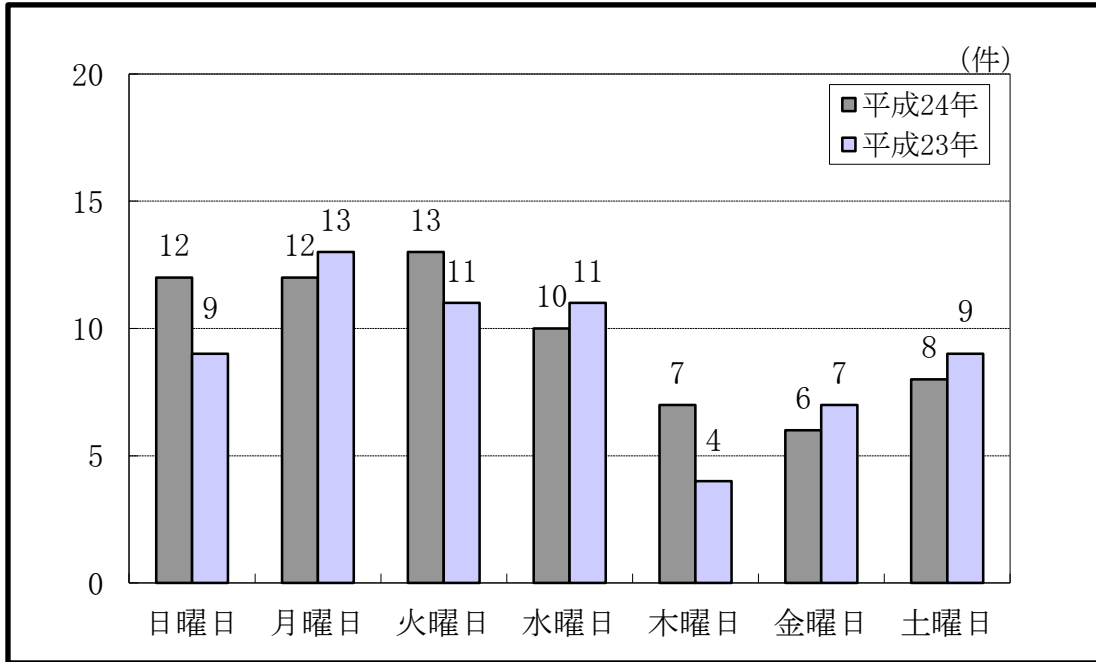
※ ( )内は救助人員です。

20 市町別救助出動の状況

市 町 別	年 別	救 助 事 故 種 別										合 計		
		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 自 水 然 害 災 等 害	機 よ る 事 に 故	建 よ る 事 に 故	ガ 酸 ス 欠 及 事 び 故	破 裂 事 故	その他の事故			
		建 物	建 以 物 外								山 事 岳 故		そ の 他	
酒 田 市	平成 24年	2 (3)		23 (15)	2 (2)	2 (1)	1		1		3 (2)	5 (4)	39 (27)	
	平成 23年			22 (15)	9 (2)				1			16 (9)	48 (26)	
	旧 酒 田 市	平成 24年	2 (3)		18 (12)	2 (2)	2 (1)	1		1			4 (4)	30 (22)
		平成 23年			17 (12)	9 (2)				1			16 (9)	43 (23)
	旧 八 幡 町	平成 24年			2 (2)							1 (1)		3 (3)
		平成 23年			1									1
	旧 松 山 町	平成 24年			2								1	3
		平成 23年			3 (2)									3 (2)
	旧 平 田 町	平成 24年			1 (1)							2 (1)		3 (2)
		平成 23年			1 (1)									1 (1)
	庄 内 町	平成 24年			6 (6)									6 (6)
		平成 23年			2	1 (1)		1					2 (2)	6 (3)
旧 立 川 町		平成 24年			2 (1)									2 (1)
		平成 23年				1 (1)								1 (1)
旧 余 目 町		平成 24年			4 (5)									4 (5)
		平成 23年			2			1					2 (2)	5 (2)
遊 佐 町	平成 24年			4 (3)	1 (1)		2 (2)				16 (11)		23 (17)	
	平成 23年			4 (1)	1 (1)				1 (1)		2 (1)	1	9 (4)	
管 外	平成 24年													
	平成 23年				1								1	
平成24年計		2 (3)		33 (24)	3 (3)	2 (1)	3 (2)		1		19 (13)	5 (4)	68 (50)	
平成23年計				28 (16)	12 (4)		1		2 (1)		2 (1)	19 (11)	64 (33)	
増 減		2 (3)		5 (8)	△ 9 (△ 1)	2 (1)	2 (2)		△ 1 (△ 1)		17 (12)	△ 14 (△ 7)	4 (17)	

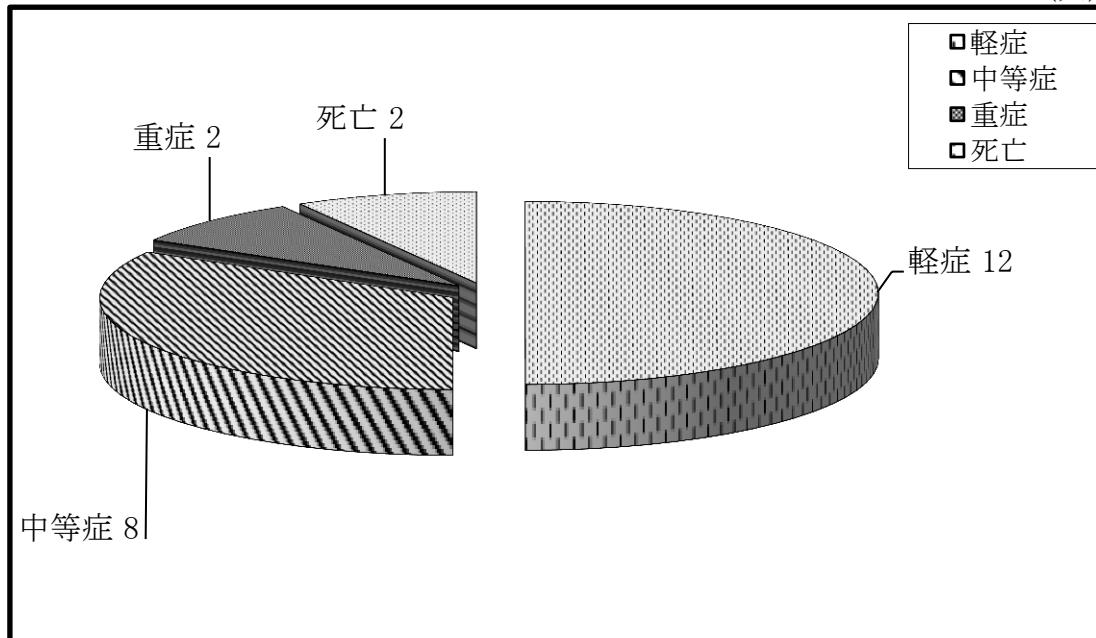
※ ( )内は救助人員です。

21 曜日別救助出動の状況



22 交通事故における要救助者の重症度の状況

(人)



23 酒田管内へのヘリコプター出動状況

(件、人)

ヘリ種別	出動区分				救助人員
	救急	山岳救助	水難救助	計	
山形県ヘリ(もがみ)	5	10	3	18	12
秋田県ヘリ(なまはげ)		2		2	1
山形県警ヘリ(がっさん)		3	2	5	2
自衛隊ヘリ	1			1	1
計	6	15	5	26	16

## 24 消防救助技術指導会出場状況（過去5年間）

### 山形県指導会

大会回数	実施年月日	出場種目	成績
20	H20.6.27	障害突破 引揚救助ほ ふく救出 ロープ応用登はん ロープブリッジ渡過 ロープブリッジ救出	入賞 入賞 入賞 入賞 入賞
21	H21.6.25	障害突破 引揚救助ほ ふく救出 ロープブリッジ救出	入賞 入賞 入賞
	H21.6.26	ロープブリッジ渡過	入賞
22	H22.6.30	障害突破 引揚救助ほ ふく救出 ロープブリッジ救出	入賞 入賞 入賞
23	23年度	東日本大震災のため 山形県指導会中止	
24	H24.6.29	障害突破 引揚救助ほ ふく救出 ロープブリッジ救出	

### 東北地区支部消防救助技術指導会

大会回数	実施年月日	出場種目	成績
37	H20.7.24	岩手県岩手北部地震 のため東北地区支部 消防救助技術指導会 中止	
38	H21.7.23	障害突破 引揚救助ほ ふく救出 ロープブリッジ救出	
39	H22.7.29	障害突破 引揚救助ほ ふく救出 ロープブリッジ救出	入賞
40	23年度	東日本大震災のため 東北地区支部 指導会中止	
41	H24.7.19	引揚救助	

※ 第35回東北地区支部消防救助技術指導会から訓練種目は、引揚救助、障害突破及びロープブリッジ救出の3種目になりました。

### 全国消防救助技術大会

大会回数	実施年月日	出場種目	成績
36	H19.8.22	ほふく救出	入賞
37	H20.8.29	ロープブリッジ渡過	入賞
38	H21.8.20	ほふく救出	入賞
		ロープブリッジ渡過	入賞

---

---

# 救命の連鎖

---

---



◎心肺停止の予防

◎早期認識と通報

◎一次救命処置

◎二次救命処置と

心拍再開後の集中治療